



大新だより

令和6(2024)年12月2日
和歌山市立大新小学校

いっしょに笑って、いっしょに学んだ11月

朝晩の冷え込みが厳しくなり、冬の訪れを感じる今日この頃ですが、大新小学校では、心温まる出来事がたくさんありました。

11月15日(金)には、全校児童が楽しみにしていた「なかよし遠足」を実施することができました。天気が心配されましたが、子どもたちのパワーに雨雲は雨を降らすのをとどまってくれたのか、なかよし活動のグループで楽しく過ごすことができました。午前中は、クイズに答えながらのウォークラリー、昼からはボールやドッジビーなどを使ったり、追いかけてっこをしたりして広場で遊びました。6年生のリーダーを中心に、それぞれが安全に配慮しながら、協力し合っ

て河西緩衝緑地を満喫していました。

11月19日(火)午前の「ふれあい食事会」では、大新地区の皆様のご厚意により、地域の皆様と3年生、4年生が交流する機会をいただきました。子どもたちは、緊張しながらも、南中ソーランの踊りを見ていただいたり、地域の皆様と話をしたりする姿が見られました。また、午後の「ふれあい広場」では、全学年で地域の皆様や保護者の方々と一緒に手品を鑑賞し、子どもたちは大きな歓声を上げて楽しんでいました。

さらに、11月18日(月)から22日(金)までの間は、朝のなかよし活動の時間帯に、地域の皆様や保護者の皆様と一緒に「なかよしラジオ体操」を実施しました。子どもたちは、地域の方々と一緒に体を動かすことで、心も体もリフレッシュできたようです。

これらの活動を通して、子どもたちは、地域の方々と温かい触れ合いの中で、思いやりや感謝の気持ちを育みました。和歌山市人権月間でもある11月、子どもたちは、地域の皆様に温かく見守られながら、笑顔いっぱいの日々を過ごしています。今回の活動にご協力いただきました、大新地区の皆様をはじめ、地域の皆様に心より感謝申し上げます。今後も、学校と地域や保護者の皆様が一体となり、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。